

www.garde-intl.com

Berlin Report

Mai 2021

CONTENTS

* Project 1: KPM Quartier



1. KPM Quartier

Project Overview

1763 年、時のプロイセン王フリードリヒ大王が創立した王立磁器製陶所「KPM」は、ベルリンでも最古の工房の一つに数えられる。1872 年以来、ベルリン市内中心部にある 4000 平米にも及ぶ「KPM -Quartier」の中の、文化財保護下にある煉瓦造りの工房を拠点と定め、いまだに全てのプロダクトをこの場所で手作りし世界中に送り出している。2006 年に製陶所が私有化されたことを機会に工房の一部を使ったマニュファクチャー&ギャラリーをオープンし、工房の歴史を語る展示など、毎年のようにブラッシュアップを続けている。煉瓦造りの建物の中に足を踏み入れると、20 世紀初頭に作られた 50 メートルもの長さを持つ窯に圧倒される。22 もの窯をつなげた当時最新式のリングオーブン(ring kiln)をそのままに活かし、窯の上をストア&ギャラリーに改装。ストアの床を一部ガラス張りにすることで、常に KPM の歴史を感じることができるのがユニークだ。プロイセンの建築家グスタフ・メラー(Gustav Möller)が手がけて 1872 年に完成した建物は、産業建築の名作としても知られる。その無骨なタッチを生かすように、あえて鉄骨は剥き出しにし、ストアやギャラリー空間の棚などの作り付けの家具も全て同系色に統一した。無駄を削ぎ取った硬質な美しさを持つ KPM の磁器が、微妙なニュアンスを持つグレーによく映える。250 年以上という長い伝統と、それを受け継いで生まれた革新をどう一つの空間で融合させるかという、一つの回答といえそうだ。

Project Details

1. Type of Business : Flagshipstore

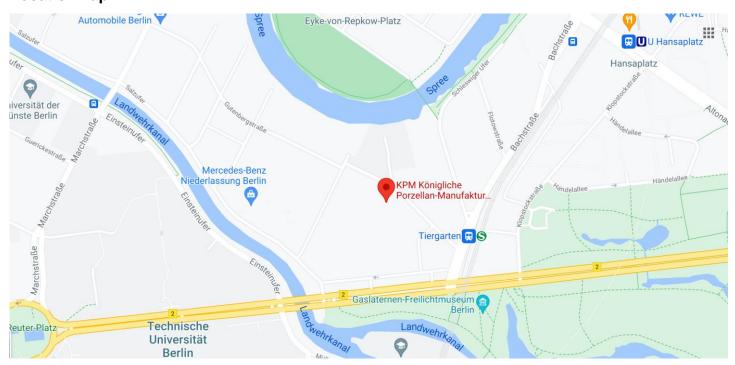
2. Open Date: 2016

3. Location: Wegelystrasse 1, 10623 Berlin

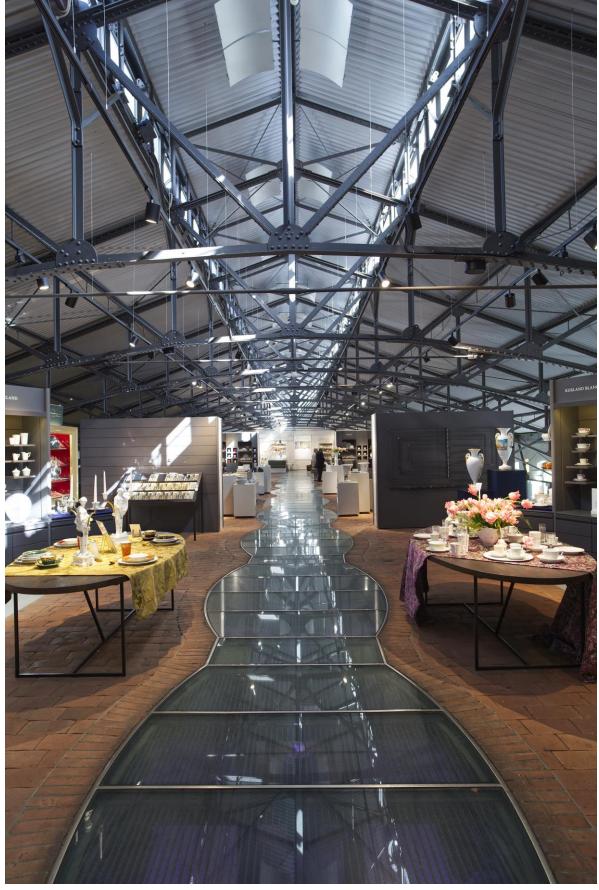
4. Size: 1000 m2

5. Architect: Gerkan, Marg und Partner

LocationMap

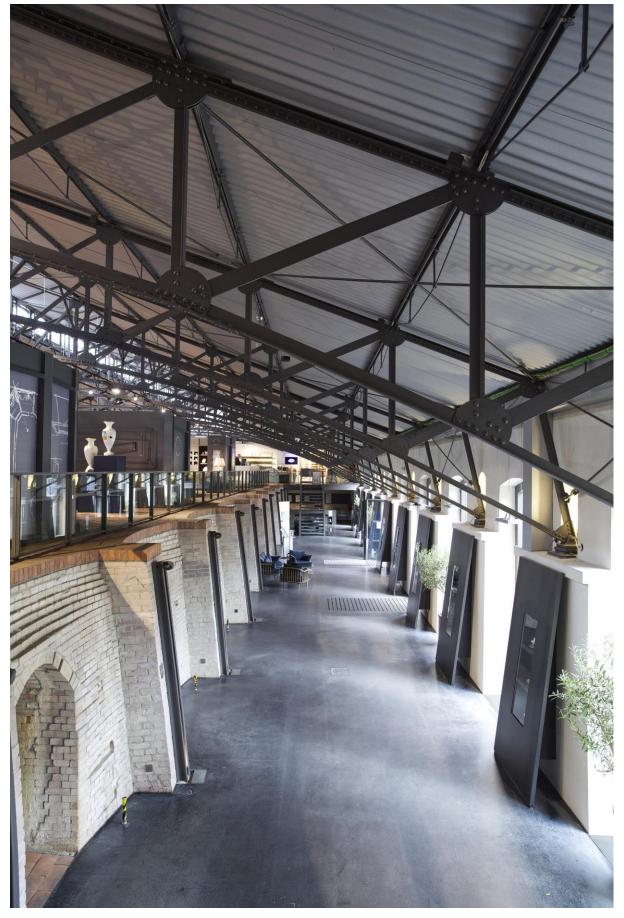






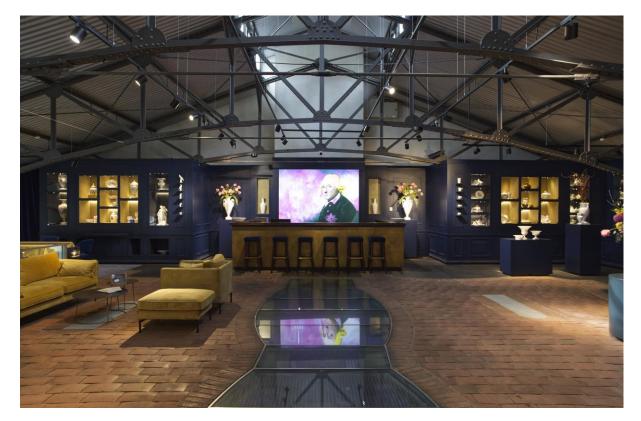
緩やかな仕切りがあるほかはワンフロアになっているフラッグシップストア。空間の中央はガラス張りで下に 50m 続く窯を 覗き込むことができる。





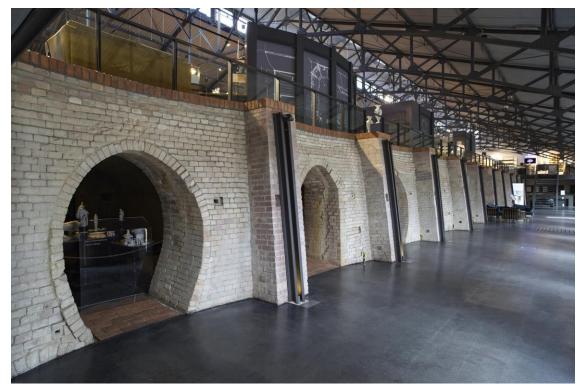
歴史的な磁器焼成窯と産業建築を活かした空間。下は展示スペース。壁に立てかけられた板のようなものは展示棚になっている。





フラッグシップストアは、煉瓦色と好対照なダークグレー、グレーがかったロイヤルブルーの作り付け家具で統一されている。伝統的な製品が並ぶコーナー(上)にはモダンなデザインながらビロードなどの高級感のある素材を使った家具を置き、フラワーアレンジメントなどで季節感を伝える。そっけないほどにシンプルなインテリアがタイムレスな KPM デザインを引き立てる。





上:窯をそのままに活かした展示部分。窯の入り口部分には鉄骨を使った照明が取り付けられている。 下:展示は、KPMの歴史を振り返るものや様々なシリーズを展示するものも。ざらっとしたレンガ、そして 窯に火をつけるのに使われていた木や麦などのドライフラワーを空間に山盛りにして、その上に展示する ことで透き通るような KPM の質感を強調している。







上:鳥の巣のように磁器と木を絡めあわせた展示。

下:50m もの長さにつながる窯を展示に生かすことで歴史の長さも伝えられる。









外観。工場の排気管までコーポレートカラーのグレーがかったロイヤルブルーで塗装され、新築部分は煉瓦色を 使ってポップに塗り分けられている。2000 平米を越す中庭には現代アートが展示され、裏手には KPM ホテルも。 様々な新しい試みがちりばめられた空間だ。